

## じょうずにやりとりをしてカードを作ろう

本単元で育成する「21世紀型スキル」

◎コミュニケーション力・表現力

## 1 単元設定の理由

## 【単元について】

本単元は小学校学習指導要領外国語活動の目標及び内容（2）話すこと〔やり取り〕を受けて設定したものである。

単元の終末に、自分のお気に入りの絵カードを作り、それについて友達と話をするという目的を設定し、相手意識や目的意識をもってやり取りをする言語活動を繰り返し設定する。友達や先生と繰り返しやり取りを行う中で、自分の好きな物や欲しい物について相手に伝わるように話したり、相手の伝えたいことを何とか理解しようとして、自分の考えや気持ちを伝え合う力の素地を養うことが期待できる単元である。

## 【児童の実態】 2年1組 18名（男子8名、女子10名）

## ①本単元にかかわる児童の実態

「英語の勉強が好き」と回答した児童は95%であり、多くの児童が英語に親しみながら楽しく学習することが出来ていることが明らかになった。一方で、「英語を授業以外の場で使っている」と回答した児童は58%であり、英語表現を活用して考えや気持ちを伝え合う場面はあまり多くなく、他教科等と結び付け、やり取りの経験を積ませる必要があることも分かった。

## ②学校図書館活用にかかわる児童の実態

「授業以外で、英語の本を読んだり見たりしたことがある」と回答した児童は47%、「英語の本を読んだり見たりしたい」と回答した児童は90%であることから、興味・関心はあるが自分から手に取って楽しんでいる児童は少ないことが明らかとなった。授業の中でさらに英語の本を活用し、児童の興味・関心を引き付けるような工夫をしていく必要がある。

## 【指導に当たって】

- ・自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養うことを目指して、自分のお気に入りの絵カードを作ったり、それについて話をしたりするためにやり取りをするという明確な目的意識をもたせることで、やり取りをする必然性を感じさせ、意欲向上につなげていく。
- ・単元ゴールの言語活動に向かって毎時間の言語活動を繰り返し行うことで、言語材料に慣れ親しませ、自信をもってやり取りをすることができるようにする。

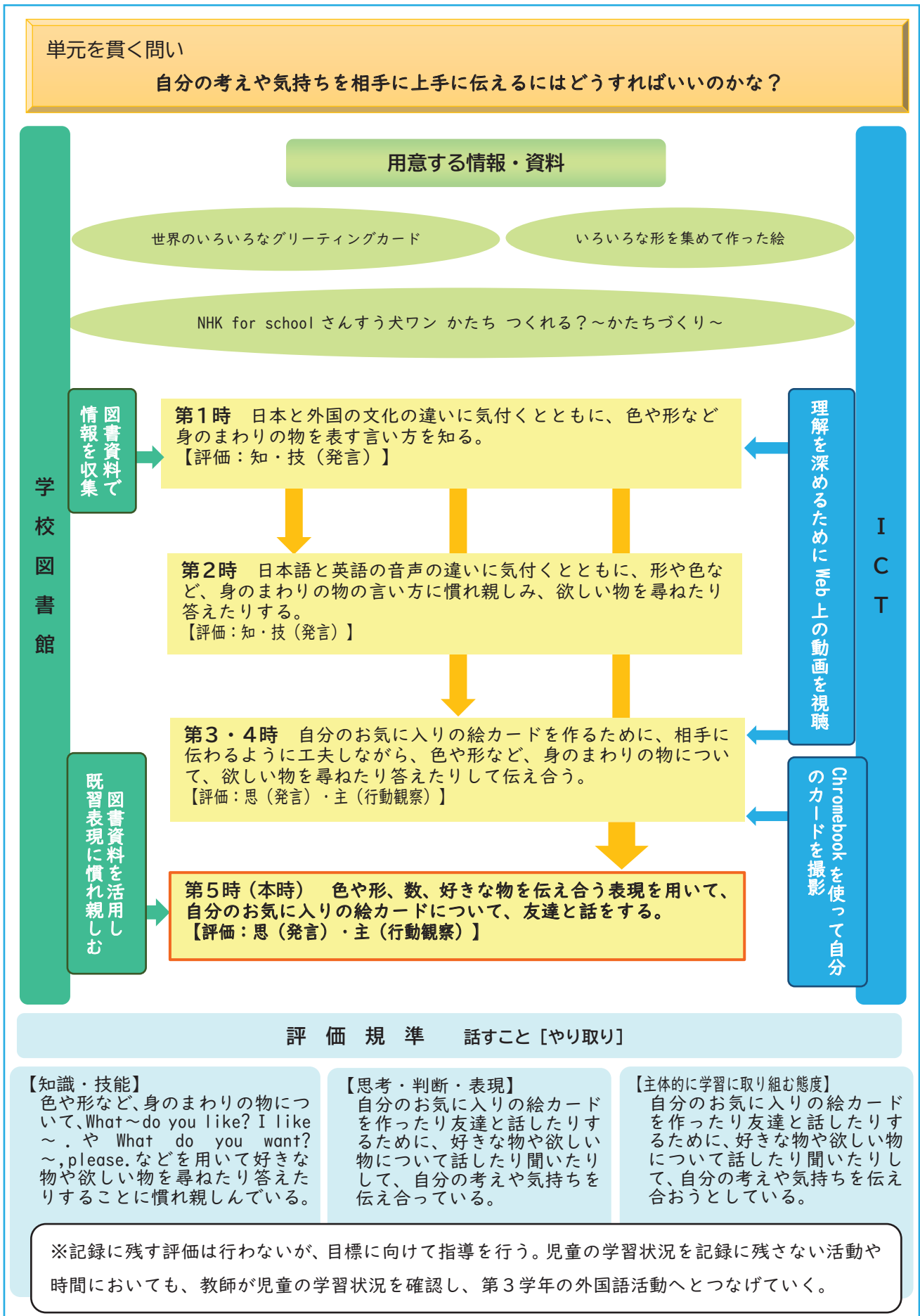
## 【単元の目標】

- 自分のお気に入りの絵カードを作ったり友達と話したりするために、好きな物や欲しい物について、相手に伝わるように尋ねたり話したりして、自分の考えや気持ちを伝え合う。

## 【言語材料】

- What do you want? ～, please. Here you are. This is for you. Thank you. You' re welcome.
- want, this, a, for, 状態 (big, small)・気持ち, 形 (square, rectangle, star, diamond), bus, flower, shop, balloon, house, car, candy, 動物 (dog, cat, panda, mouse, bear)
- 【既出】 I like～. Do you like～? Yes, I do. / No, I don' t. I don' t like～. What～do you like? How many～? 形, 色, 数 (1～20)

## 2 単元構想図（指導と評価の計画）



### 3 本時の学習（本時5 / 5時）

(1) 本時の目標

○色や形、数、好きな物を伝え合う表現を用いて、自分が作ったお気に入り絵カードについて友達と話を  
する。

(2) 準備物

- お気に入り絵カード
- 図書資料（色や形、数を扱った英語絵本）

(3) 学習の展開

学 習 活 動	指導上の留意事項 (○) 及び「努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て (◆)	評価規準（評価方法）及び学校図書館・ICT活用のポイント
<p>1 挨拶をする。</p> <p>2 本時の中心課題を確認する。</p>	<p>T1:○元気よく挨拶をして、積極的に学習しようとする雰囲気や話しやすい雰囲気を高める。</p> <p>T2:◆児童の近くで声掛けをする。</p>	
<p>どんなカードを作ったのか、みんなにたくわしくつたえよう。</p>		
<p>3 前時までの活動を振り返る。</p> <p>4 What's this? ゲームを行う。</p>	<p>T1:○カードについて、友達と話をするために必要な英語表現を復習することを伝え、目的意識をもって活動できるようにする。</p> <p>○3つのグループに分かれ、絵本を用いて、数や色、形などの既習表現を確認したり、簡単なクイズをしたりして、楽しく復習をするようにする。</p> <p>○教師とやり取りをしながら絵本を楽しむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>T1・・・形の絵本「あかまる どれかな？」</p> <p>T2・・・色の絵本「LEMONS ARE NOT RED」</p> <p>T3・・・数の絵本「Spot Can Count」</p> </div> <p>T2:○「数」「色」「形」を扱った面白い絵本が図書室にあることや、英語の本を自分たちでも読んだり楽しんだりすることができることに気付かせるようにする。</p> <p>T1:○いろいろな形や色でできている絵を提示し、クイズを行う。</p>	<div style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px;"> <p><b>学校図書館活用のポイント</b> 教師が意図的に選定した絵本を用いて、既習表現に親しませる。</p> </div>
<p>What's this? -It's a lion. I like lions. Do you like lions? -Yes, I do.</p> <p>What shape is this? -It's circle. Big circle? Small circle? -It's big circle.</p> <p>How many triangles? -16 triangles? 10 triangles? Yellow? White?</p>		
	<p>T1:◆使わせたい英語表現を取り入れたクイズを行い、モデルを示すとともに全体で練習をするようにする。</p>	

<p>5 友達にカードを見せながら、話をする。</p>	<p>T2:◆児童の近くで声掛けをしながら、全員がクイズに参加したり楽しんだりすることができるようにする。</p> <p>T3:○数、色、形の言い方を確認をしたり肯定的評価をしたりする。</p> <p>T1:○ゲームのやり取りをもとに、自分のカードについて、自分の好きなものや、どんな色や形を使ったのか、何枚使ったのかななどを近くの友達と話をするようにする。</p> <p>T2 及び T3</p> <p>◆児童の近くで声掛けをしながら、形や色、数を使って話することができるか確認し、支援や評価を行う。</p>	<p>I like ~.It's ~ (数、色、形).などの表現を用いて、自分が作ったカードについて話をしようとしている。</p> <p>【思・主】(発言・行動観察)</p>
<p>6 近くの大人(参観者)と自分のカードについて話をする。</p>	<p>T1:○自分が作ったカードについて、参観者とも話をするように声掛けをする。</p> <p>T2 及び T3</p> <p>◆机間指導を行い、全員が参観者と話をするように個別にサポートする。</p>	
<p>7 学習の振り返りを行う。</p>	<p>T1:○今日の自分の頑張りやできるようになったこと、楽しかったこと、まだやりたいことなどを発表させる。</p> <p>T2 及び T3</p> <p>○児童の頑張り認め、肯定的評価をする。</p>	

(4) 板書計画

10/13 (金) めあて どんなカードをつくったのか、みんなにくわしくつたえよう!

<p>number <b>1 2 3 4 5</b></p> <p>How many ? </p> <p>4 <b>circles</b> ●</p> <p>10 <b>yellow triangles</b> ▲</p>	<p>color </p> <p>It's <b>blue red pink black</b> <b>orange yellow green</b> <b>white brown purple</b> </p> <p>I like <b>pink</b> </p> <p>Do you like <b>pink</b>? </p>	<p>shape</p> <p>It's <b>triangle</b> ▲ <b>diamond</b> ◆ <b>circle</b> ● <b>rectangle</b> ■ <b>star</b> ★ <b>square</b> ■ <b>heart</b> ♥</p> <p><b>Big</b> <b>small</b> </p>
---	--	---